

緑が丘地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和5年11月23日(木)
午後3時00分～午後4時30分
- 2 場 所 緑が丘町公民館 大会議室
- 3 参加者 緑が丘地区 14人
市 25人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、デジタル推進課長、縁結び課長、経営管理課長、市民協働課長、生活環境課長、障害福祉課長、子育て支援課長、介護保険課長、道路河川課長、教育施設課長)
オブザーバー 6人
傍聴者 4人

4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 財政健全化計画について

【まちづくり協議会】

財政健全化計画は、市の財政にまだ余力があるうちに財政の健全化を図り、長期的な展望を持ち市政運営を行うことだと理解している。その計画の中で、ふるさと納税の寄附額が大きかったと公表されている。令和4年度のふるさと納税の状況を教えていただきたい。

【総務部長】

ふるさと納税寄附額の増加を図ることは、財政健全化計画における収入増加のための主な取組である。令和4年度においては、寄附額ベースで約8億円の目標に対して、実績は約9億6,800万円であった。今後もふるさと納税の寄附額の増加の取組を推進していく。

【まちづくり協議会】

寄附額の多い返礼品は何か。

【縁結び課長】

1番多いのは、ゴルフ場利用券である。次が、園芸用品や包丁などの金物関係品である。

【まちづくり協議会】

財政健全化の中で、コスト削減の観点から交付金や助成金などを精査された点は理解するが、職員の時間外勤務について、削減目標額1,000万円に対して、実績は750万円であった。この点の評価はいかがか。

【総務部長】

時間外勤務の縮減の取組として、事業見直しによる事業の廃止、業務の外部委託やデジタル化の推進などに取り組んでいる。また、働き方改革の観点からも、時間外勤務の縮減など働く環境を整えることで、職員の健康管理、ひいては優秀な人材を確保することにもつながると考えている。実績については、ご指摘のとおりであるが、今後も引き続き、時間外勤務の縮減に取り組んでいく。

【市長】

財政健全化計画は、令和4年度からの5か年計画である。これまで、平成14年に公民館の使用料等の改定を行ったが、それ以降、一度も見直しがされていない。そのため、定期的な使用料等の見直しを含む、各種事業の見直しを行うための計画である。

【まちづくり協議会】

財政健全化計画について、市のホームページ等で事業見直しの内容を確認し、理解している部分もある。しかし市民福祉年金の廃止について、どういった理由で廃止となったのか、どのように決定されたか教えていただきたい。

【健康福祉部長】

市民福祉年金は、これまで障がいのある方に対して、市の施策として実施している。開始当時、障がいのある方に対しての国等の施策は少なかったが、現在、国等によるさまざまな施策が充実してきた。そこで、事業の総点検を進め、今年度末をもって廃止する案について、9月議会で承認を得たものである。

イ 青山7丁目に建設予定の福祉施設について

【まちづくり協議会】

当該福祉施設は当初令和5年10月完成予定であったが、延期が続いている。可能な限り早くしていただきたい。

【市長】

事業者からは、入札を実施しているが、物価高騰の影響を受け工事業者が決まっていない。令和6年中に再入札を実施し、順調に進めば、令和7年の開設予定であると聞いている。

【まちづくり協議会】

デイサービスセンターひまわりについて、令和6年3月で指定管理が終了するが、4月以降はどうなるのか。

【副市長】

青山7丁目に建設予定の福祉施設が完成するまでは、現状と同じく指定管理を継続する。

ウ 進学路や生活道路の安全・安心について

【まちづくり協議会】

本年9月に緑が丘小学校前のスクールゾーン内で、自転車に乗る小学生と車両が接触する交通事故が発生している。また、10月には緑が丘町中1丁目付近においても同様の交通事故が発生している。これらを踏まえ、市として対応していただきたい。

【市長】

通り抜け禁止の看板等の設置について、設置場所や看板の向きなど、一度、会長含め地元の方、市役所で立ち合いのもと、検討していく。また、歩車分離式信号の設置の決定は警察であるが、看板設置と同様に、会長含め地元の方、市役所、警察と現地で立ち合いを実施させていただきたい。

エ DX推進（電子申請等）について

【まちづくり協議会】

意見・提言については、回答でよく理解できた。回答の中にあるように、本人確認などがオンラインで可能となることが大事と考える。令和7年度実現に向け進めていただきたい。

オ 障害福祉関係事業者への現状のサポート体制と今後の可能性について

【まちづくり協議会】

緑が丘において、7月に新たに障害福祉事業が立ち上げられた。その施設には、三木市外の利用が多く、市民の利用が少ない。この現状について説明願いたい。

【健康福祉部長】

障害のある方が利用する施設には、多くの種類があり、利用者は、利用したいサービスを提供する施設を利用する。利用者が求めるサービスを提供する施設が市内になれば市外の施設を利用する。また、新規の事業所が立ち上がった際には、市から相談支援事業所に情報提供などを行っている。

カ みつきい夏まつりについて

【まちづくり協議会】

みつきい夏まつりは、多くの来場者により非常に盛り上がった。私も出店を手伝っていたが、子どもが喜んでいる姿を見て、良い祭りであったと感じている。一方で想定を超える交通渋滞が発生した。そこで現時点での渋滞対策について教えていただきたい。

【市民生活部長】

次年度の夏まつり開催は、今年と同様の対策ではいけないと考えている。これまでに、警察などの関係機関と協議を行い、防災公園内や緑が丘地区内などの住宅街には駐車場を設けない。また、防災公園前の片側2車線道路について、片側1車線をシャトルバスなどの専用道路にするなどを検討している。最終的には夏まつり実行委員会にて決定されるが、しっかりと対策を実施し、開催したいと考えている。

キ 子育て支援策について

【まちづくり協議会】

人口が増えることが、勢いのあるまちと考える。人口が増えるには、企業誘致など魅力ある施策が必要であるので、子育て施策を含め、回答にある施策を実施していただきたい。その効果については、今後も注視したいと考えている。魅力

あるまちでなければ人口は増えないと考えるので、魅力あるまちづくりをお願いしたい。

【市 長】

ご理解いただきたいことは、今後、日本全国で人口は減少する。第1次安倍内閣のときに、当時1億2000万人の人口が2060年には8600万人に減少する。そこで国を挙げ、人口1億人を維持することを目標に、兵庫県地域創生戦略を県が策定し、市においても三木市創生計画を策定した。5年ごとの国勢調査において、三木市は平成27年度時点で令和2年度には約7万3000人に減少する予測であったが、実績は約7万5000人であり、国の予測より約2000人上回っている。各施策の実施により、国の予測を上回る結果であったと考えている。

【まちづくり協議会】

兵庫県との連携事業である「ひょうご情報公園都市」について、兵庫県から事業見直しが行われるとの新聞報道があった。このことは、雇用創出に大きな影響があると考えているが、今後の見通しと市の考え方を教えていただきたい。

【市 長】

ひょうご情報公園都市については、私が市長に就任し、働く場の確保として兵庫県との共同事業として、令和3年5月に協定を結び進めている。兵庫県が既に土地を購入しており、高速道路沿線であり、県も非常に魅力的な場所だと理解している。今回の新聞報道は、兵庫県の地域整備事業全体について、外部の有識者と様々な議論をする県の方針であり、その中に三木も入っているが、この県の方針により、事業が中止されることはないと考えている。